

外科専門医研修ネットワークプログラム

1 はじめに

プログラムリーダー 沼津市立病院 副院長 ト部 憲和

本プログラムは、日本外科学会新専門医制度のカリキュラムに準拠して作成され、沼津市立病院・静岡医療センター・富士宮市立病院の3病院での専門研修カリキュラムになります。

外科専門医は、2階部分のサブスペシャリティである消化器外科・呼吸器外科・心臓血管外科・小児外科の専門医制度の1階部分の重要な基礎であり、本プログラムでは、地域の基幹施設において外科救急を含めた外科一般研修が可能です。

2 目的

- 1) 専攻医が医師として必要な基本的診療能力を習得すること
- 2) 専攻医が外科領域の専門的診療能力を習得すること
- 3) 上記に関する知識・技能・態度（コアコンピテンシー）と高い倫理性を備えることにより、患者に信頼され、標準的な医療を提供でき、プロフェッショナルとしての誇りを持ち、患者への責任を果たせる外科専門医となること
- 4) 外科領域全般からサブスペシャリティ領域（消化器外科・心臓血管外科・呼吸器外科・小児外科）またはそれに準じた外科関連領域（乳腺や内分泌領域）の専門研修を行い、それぞれの領域の専門医取得へと連動すること

3 目標

専門研修1年目では、基本的診療能力及び外科の基本的知識と技能の習得を目標とします。専攻医は、定期的に開催されるカンファレンスや症例検討会、抄読会、院内開催セミナーの参加、e-learning、書籍や論文などの通読、日本外科学会が用意しているビデオライブラリーなどを通して、自らも専門知識・技能の習得を図ります。

専門研修2年目では、基本的診療能力の向上に加えて、外科基本的知識・技能を実際の診断・治療へ応用する力量を養うことを目標とします。専攻医はさらに学会・研究会への参加などを通して専門知識・技能の習得を図ります。

専門研修3年目では、チーム医療において責任を持って診療にあたり、後進の指導にも参画し、リーダーシップを発揮して、外科の実践的知識・技能の習得により様々な外科疾患へ対応する力量を養うことを目標とします。カリキュラムを習得したと認められる専攻医には、積極的にサブスペシャリティ領域専門医の取得に向けた技能研修へ進みます

4 特徴

基幹施設である沼津市立病院と連携施設の静岡医療センターは同じ駿東田方医療圏ですが富士宮市立病院は隣接する富士医療圏にあります。いずれの病院も地域において病診・病病連携を図り、地域医療に貢献しています。

本プログラムの研修期間は3年間としていますが、習得が不十分な場合は習得できるまで期間を延長することになります（未修了）。一方、カリキュラムの技能を習得したと認められた専攻医には、積極的にサブスペシャリティ領域専門医取得に向けた技能教育を開始することができます。

5 研修カリキュラム

研修プログラムに関連した全体行事の年間スケジュール

4 月	・日本外科学会（参加）
5 月	・研修修了者：専門医認定審査申請、提出
7 月	・消化器外科学会（参加）
8 月	・研修修了者：専門医認定審査（筆記試験）
11 月	・臨床外科学会（発表）
2 月	・専攻医：研修目標達成度評価報告用紙と経験症例数報告用紙の作成（書類は翌月に提出） ・専攻医：研修プログラム評価報告用紙の作成（書類は翌月に提出） ・指導医・指導責任者：指導実績報告用紙の作成（書類は翌月に提出）
3 月	・外科集談会（発表） ・その年度の研修終了 ・専攻医：その年度の研修目標達成評価報告用紙と経験症例数報告用紙を提出 ・指導医・指導責任者：前年度の指導実績報告用紙の提出 ・研修プログラム管理委員会開催

6 研修例

○基幹施設

・沼津市立病院 外科

	月	火	水	木	金	土	日
7:30-8:30 朝カンファレンス	○	○	○	○	○		
8:30-12:00 病棟業務、回診		○		○	○		
8:30-12:00 検査(エコー、内視鏡、X-P 造影など)	○		○	○			
13:00- 手術	○		○		○		
13:30-15:30 病棟カンファレンス		○					
15:30-17:00 放射線読影および術前症例検討会				○			
17:00-18:00 放射線科合同マンモグラフィー読影カンファレンス			○				
交代出番制						○	○

○連携施設

・静岡医療センター 外科

	月	火	水	木	金	土	日
7:00-8:15 朝カンファレンス・病棟回診		○		○			
8:15-8:30 ICU/CCU カンファレンス			○				
9:00-17:30 手術・各種検査/処置	○	○	○	○	○		
17:30- チーム回診	○		○	○	○		
17:30- 術前・術後症例検討会		○					
17:30- キャンサーボード（第1週）				○			
19:00- 消化器内科・外科合同カンファレンス		○					
19:00- 外科・放射線科合同カンファレンス（第1・3週）				○			
医師待機						○	○

・富士宮市立病院 外科

	月	火	水	木	金	土	日
7:30-8:30 外科カンファレンス		○		○			
7:30-8:30 抄読会			○				
8:30-17:30 手術・病棟管理・各種検査/処置	○	○	○	○	○		
13:30-14:00 病棟カンファレンス（リハ・緩和）			○				
17:30-18:00 薬剤部カンファレンス			○				
医師待機						○	○

7 研修病院群

本専門研修施設群の過去3年間の3施設合計のNCD登録数は年2,293例で、3年あたりの本プログラムへの割り当て症例は559例です。専門研修指導医は20名です。

○専門研修指導医

- ・沼津市立病院
- ・静岡医療センター
- ・富士宮市立病院

8 研修期間

○専門研修1年目

沼津市立病院にて研修を行います。沼津市立病院では、救急における一般外科・消化器外科・呼吸器外科・小児外科・心臓血管外科の基本研修を行います。

経験症例180例以上（術者30例以上）

○専門研修2年目及び3年目

- ・静岡医療センターでは、消化器外科・心臓血管外科・小児外科・呼吸器外科の研修を行います。

経験症例200以上（術者50例以上）

- ・富士宮市立病院では、消化器外科・呼吸器外科の研修を行います。経験症例180以上（術者50例以上）

外科専門医・消化器外科専門医 研修ネットワークプログラム

1 はじめに

プログラムリーダー 静岡県立総合病院 副院長 高木 正和

全国的に外科医の減少が危惧されています。今日の外科医、とりわけ消化器外科医は診断、手術、術後治療(管理)、癌再発に対する化学療法や緩和的治療など非常に守備範囲が広く、そのため多くの他職種の医療者とのチーム医療の中でリーダーの役割が要求されています。

われわれは多くの症例を経験することで自らの手術手技と医療者としての人格を磨きますが、その中で時間のかかる手術手技の習得に焦りを感じたり、無力感に襲われることもあることでしょう。

しかし、若い外科医からベテランの外科医まで、外科医には経験によって培われた様々な段階の技術や人格に応じて必ず救える患者が目の前に存在します。研修の途中でも必ず感謝してくれる患者がいます。外科医も決して捨てたものではありません。

われわれは外科医に与えられたこうした醍醐味を一人でも多くの外科医志望者に味わっていただけるよう、そして専門医の資格を取得できるよう、すべての施設の外科医が全力で協力します。



2 目 的

外科医を志望する後期研修医が、静岡県中部の病院を3年間ローテートし、「外科専門医」試験に合格することを主目的としています。

すなわち、医の倫理を体得し、医療を適正に実践すべく一定の修練を経て、診断、手術および術前後の管理・処置・ケアなど、一般外科医療に関する標準的な知識と技量を修得することです。

さらに、同じ病院群で連続して経験を積んで「消化器外科専門医」取得を目指すことができます。

3 特 徴

「外科専門医」を目指す後期研修医が、短期間で効率よく必修項目を研修できるように作成されたプログラムです。

ローテートするのは静岡県中部の公的病院で、いずれも手術件数の豊富な急性期病院です。一施設では経験する手術や疾患に偏りが生じることもあるため、このプログラムでは互いの施設が連携し、それぞれの特徴を活かして、外科診療を万遍なく学べるよう配慮されています。さらに本プログラムの「外科専門医プログラム」を終了した者が「消化器外科専門医研修プログラム」の対象となります。

各施設には「日本外科学会」、「日本消化器外科学会」の指導医または専門医がおり、責任をもって指導にあたりますが、出身大学が多彩でもあり、それぞれに“カラー”があると思われます。同じ疾患でも施設や指導医によって治療方針、手術方法に違いがあることを知ることも広い見識を養ううえで重要であり、多施設研修の大きな利点です。

静岡市近辺は都会と地方が程良く混ざり合った土地柄で、エンジョイしながら勉強するには恰好の環境と言えます。ぜひこのプログラムに参加してください。